

## 九条学校 = 孫崎講演会報告

【えびな9条の会・会報 投稿原稿】

下山房雄

「九条かながわの会」恒例の九条学校、今年は7月7日の夕、横浜桜木町のホールで、孫崎享さん講演会として行われました。「えびな九条の会」レベルでの宣伝をミスってしまったのですが、私は講談社新書2009年『日米同盟の正体』で孫崎さんが論壇に登場して以来、彼が外務官僚と防衛大学校教授40年余の経験を踏まえ、大胆かつ鋭利に日米安保が世界各地での米日両軍共同行動体制＝日米同盟に変貌したことを指摘解説する活動を盛んにされていることに注目していたので、是非との気持ちで参加しました。仲築間卓蔵さん（元テレビプロデューサー）司会、後藤仁敏さん（古生物学者）開会辞、岡田尚さん（弁護士）閉会辞のもと、ホール満席の250人が集まり、質問に10人が立つという活発な講演会で満足しました。

司会の紹介で「元外務省情報局長という肩書きに似合わぬ普通のおじさん」と言われた通り、孫崎講演は分かりやすくかつ考えさせられる内容のもので、私は手帳五頁にノートをとりました。ここでは、講演の初めのあたりで印象的だった部分だけを紹介します。5月8日のニューヨーク・タイムズ社説が集团的自衛権行使容認で日本は民主主義の真の危機に直面していると書いていること、昨年暮れの天皇80歳誕生日に天皇は「日本国憲法は平和と民主主義を守るべき大切なものとして作られた」との談話を行ったこと、この重要な両方の事実をNHKは報じなかったのですね。なるほどなるほどと聴きました。

孫崎さんは旺盛な著作活動を行っており、当日配布の紹介資料に11点の本が「など」として出ています。海老名市図書館にも彼の著書が9点、入っています。どれを読んでも有益でしょう。勧めます。

当日会場で何点かの孫崎本のサインセールスをやっていました。永い友人の新谷昌之さん（神奈川県労働者学習協会副会長）が売り手でしたので「一冊買うのだったらどの本が適切かな」と尋ねたところ、「創元社2012年刊『戦後史の正体』でしょう」との答えを得、その本に「下山房雄様 平成二十六年七月七日 孫崎享」とのサインを頂き、これから読もうとしているところです。えっと思ったのは、講演では当然に西暦で史実を紹介説明しているのに、やや改まった署名というところでは天皇暦が使われていることでした。長年の国家公務員の生活習慣の名残りでしょう。大使館勤務（ソ連、イラン、イラク、アメリカ、カナダ、ウズベク）や防衛大学校教授の要職を経た上で、日本の外交防衛のあり方について旺盛な批判活動をされている挑戦的人生に改めて敬意を覚えました。

下山房雄（国分南やまに平在任）

「えびな・九条の会」（第91号、2014年7月18日）